

2 創業準備5つのステップ

創業するためには、計画的に準備をすることが重要です。平均すると1年ほど準備期間を設ける方が多いと思います。では、具体的に何を準備すればいいのでしょうか。創業準備5つのステップをご紹介します。

文=上野 光夫

Profile▶

中小企業診断士・大正大学
招聘教授。2011年にコン
サルタントとして独立。起
業支援、財務コンサルティングを行うほか、講演、執筆などの活動を行っている。



1 創業の動機を固める (P.4)

2 創業時期を固めてスケジュール化 (P.4)

3 経営者になる準備をする (P.5・6)

経営者として必要なマインド (P.5)

経営者に必要な能力の向上 (P.6)

4 ビジネスプランを固める (P.7~34)

アイデアの整理 (P.9)

経営理念 (P.13)

経営戦略 (P.15)

マーケティング (P.21)

ビジネスモデル (P.23)

チームビルディング (P.25)

資金計画 (P.27)

収支計画 (P.29)

5 経営資源を整えて創業の実行準備をする (P.4)

創 業

※ **3**と**4**は、同時並行で進めると、順調にスタートが切れる可能性が高まります。

【STEP 1】 創業の動機を固める

まずは、ぶれない創業動機をみつけてください。創業を実現させて事業を繁栄させるには、ぶれない創業動機を固めることが重要です。

創業動機をみつけるにあたっては、1冊のノートに「あなたの今の気持ち」や「創業に対する想い」を書いてみましょう。ここでのポイントは、自分の気持ちを率直に書き、モチベーションを高めることを意識することが大切です。自分の気持ちや頭の中の考えを可視化することに意義があります。

ぶれない創業動機をみつければ、どんなに困難な壁にぶつかっても、それを乗り越えていける大きな原動力となります。

【STEP 2】 創業時期を固めてスケジュール化

次に大切なことは、創業予定時期を早めに固めることです。「いつかは創業したい」と考えているだけでは、なかなか実現しません。「〇〇年〇〇月〇〇日に創業する!」と、日付を決めると実現可能性が高まります。

創業の時期を固めたら、そこから逆算して行動スケジュールを立てていきます。

【STEP 3】 経営者になる準備をする

創業準備というと、ビジネスプランを固めることにフォーカスしがちですが、「経営者になる準備」はそれ以上に大切だといっても過言ではありません。

事業を長く続けるためのカギは、経営者本人の資質だからです。会社がどんなに大きくなっても、事業の命運を左右するのは経営者です。P.5以降、詳しく解説していきます。

【STEP 4】 ビジネスプランを固める

経営者になる準備と並行して、ビジネスプランを固めます。創業して事業を早く軌道に乗せるためには、何度も練り直しながらビジネスプランを固めていく過程が大切です。P.7以降、詳しく解説していきます。

【STEP 5】 経営資源を整えて創業の実行準備をする

「人・モノ・金・情報」の経営資源を整え、創業の実行準備をしていきます。例えば、自己資金だけで創業できない場合は、親族や金融機関に借入の相談をして資金の用途を立て、店舗の契約やスタッフとの雇用契約に着手、業種によっては許認可手続を実施します。